

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No.	3069	(H.28)No.	3069
-----------	------	-----------	------

事務事業名	遠距離通学費補助金(小学校)		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	教育総務室	内匠 勝也	

会計区分	事業コード	472503
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	小学校教育振興費	
項 小学校費	(小事業名)	
目 教育振興費	遠距離通学費補助金	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施 策	1	学校教育
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
名張市立小学校へ遠距離通学する児童の保護者に対し、通学費の一部を補助することで保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、対象児童を安全に通学させることにより、義務教育の円滑な運営を行います。
事業内容
<補助>名張市立小学校へ遠距離通学(通学距離が片道概ね4キロメートル以上を基本)する児童及び特別支援学級に在籍する児童の保護者に対し、交通機関(バス)ならびに自動車による通学費の一部を補助します。 <運行委託>長瀬小・錦生小・滝之原小・国津小の統廃合により、統合先の小学校へ通学することになった児童に対しスクールバスを運行します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	・平成28年度遠距離通学費補助金 1,442千円 ・小学校の統廃合に伴うスクールバス運行委託経費 23,400千円	・遠距離通学費補助金 ・小学校の統廃合に伴うスクールバス運行委託経費	・遠距離通学費補助金 ・小学校の統廃合に伴うスクールバス運行委託経費	・遠距離通学費補助金 ・小学校の統廃合に伴うスクールバス運行委託経費	・遠距離通学費補助金 ・小学校の統廃合に伴うスクールバス運行委託経費

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		24,841千円		29,247千円	27,000千円	27,000千円	27,000千円
内訳(千円)							
国・県支出金		688		956	1,000	1,000	1,000
地方債							
その他()							
一般財源	0	24,153	0	28,291	26,000	26,000	26,000
人工数							
職員		0.29人		0.29人	0.29人	0.29人	0.29人
臨時職員等		0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	2,175千円	0千円	2,175千円	2,175千円	2,175千円	2,175千円
①+②総事業費	0千円	27,016千円	0千円	31,422千円	29,175千円	29,175千円	29,175千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度(取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
公共交通機関等が通学手段である児童の遠距離通学にかかる通学費の一部を補助し、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、対象児童の通学の安全を確保しました。通学費用を助成することで、円滑な学校教育の実施を図りました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】	継続(現行)
継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に係る市の計画
等しく義務教育を受けることができる体制を整備するという観点から、遠距離通学費補助を継続して実施するとともに、小学校の統廃合に伴い、統合先の小学校へ通学することになった児童に対しスクールバスの運行を継続して行います。統廃合にかかるスクールバスの運行および通学費補助金は、児童が安全に通学し、等しく義務教育を受けることができる体制を維持していくために継続が必要です。	